

きぼうへのかけはし

基本理念 希望のある医療



(撮影:石川 亜由実 看護師)

内科：糖尿病について

1. 糖尿病ってどんな病気？

食物に含まれる糖質は、消化・分解されてブドウ糖になり、すい臓から分泌されるインスリンの働きによって、体や脳が活動するためのエネルギー源として使われます。

しかし、何らかの原因でインスリンが十分に作用しなくなると、血液中にブドウ糖が溜まって、**血糖の濃度(血糖値)が高い状態が続くようになります**。この血糖値が高い状態が続くのが糖尿病です。

厚生労働省の調査によると、糖尿病が強く疑われる人と糖尿病の可能性が否定できない人を合わせると2, 210万人に達しており、最近10年間で比較すると840万人増加しています。

2. 合併症が怖い

糖尿病は初期症状がほとんどなく、治療しないままに放置されても本人は困ることがありませんが、その後に待っているのは、**視力障害、腎不全、下肢の壊疽や心筋梗塞**などの恐ろしい合併症です。

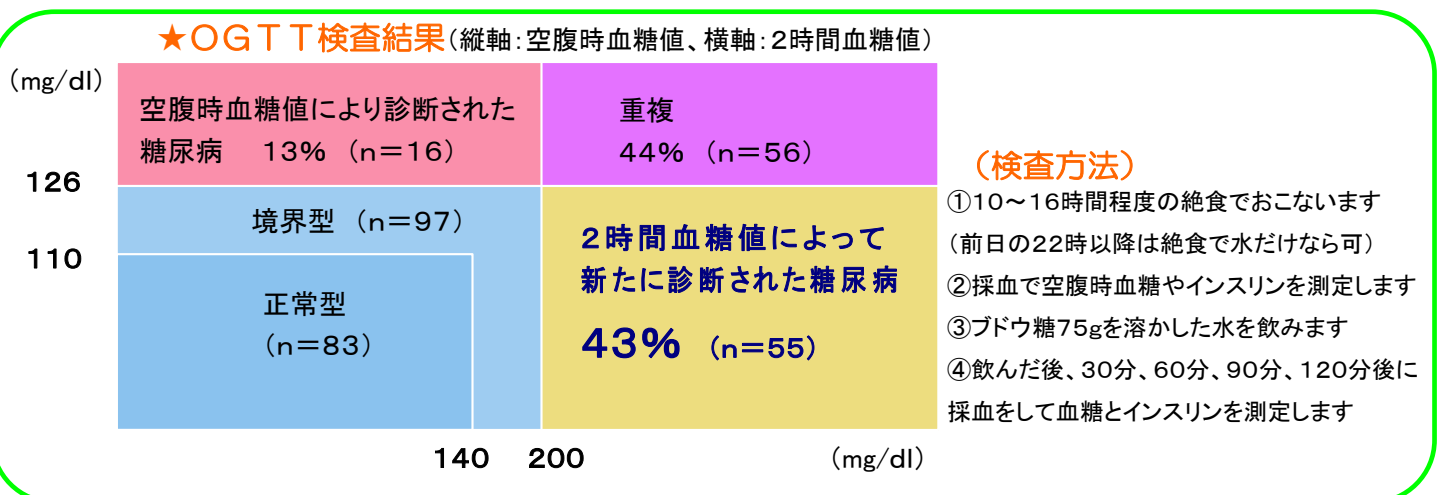
(日本における中途失明や新規透析導入の原因の第1位が糖尿病です)

一方、早期に発見し、適切な治療を続けていけば、合併症と無縁の人生を送ることができ、糖尿病体質自体が徐々に改善し薬物の減量なども可能です。

3. 最適な検査方法は？

一般的な糖尿病の検査は空腹時血糖値により実施されていますが、この検査だけでは40%程度の糖尿病あるいは糖尿病予備軍の方を見逃す可能性があることが分かってきました。

当院では、**経口糖負荷試験(OGTT: Oral Glucose Tolerance Test)**により、糖尿病の早期発見に努めています。毎週木曜日におこなわれるOGTT外来での検査結果のまとめは下記のとおりですが、**糖尿病型と診断された127名の方のうち、55名は通常の検査では糖尿病と診断できませんでした**。



4. 当院の糖尿病診療

内科常勤医師のうち、5名が糖尿病専門医で7名が糖尿病研究での医学博士です。糖尿病の教育パス入院も積極的におこなっていますので、ご心配の方は担当医師にご相談ください。

● 血糖コントロールの指標と評価					
コントロールの評価とその範囲					
指標	優	良	可		不可
			不十分	不良	
HbA1c(NGSP)(%)	6.2未満	6.2~6.9未満	6.9~7.4未満	7.4~8.4未満	8.4以上
HbA1c(JDS)(%)	5.8未満	5.8~6.5未満	6.5~7.0未満	7.0~8.0未満	8.0以上
空腹時血糖値(mg/dL)	80~110未満	110~130未満	130~160未満		160以上
食後2時間血糖値(mg/dL)	80~140未満	140~180未満	180~220未満		220以上

+0.4%シフト

日本糖尿病学会編「糖尿病治療ガイド2010」より引用改変

(ご注意ください)

国際標準化に伴って平成24年4月より、HbA1c値がNGSP値に変更されています。

★糖尿病教室を開催します

当院では、医師をはじめとする医療スタッフが、糖尿病についての予防や治療方法などを解りやすく説明する糖尿病教室を開催しています。糖尿病の治療を受けておられる方や、そのご家族、糖尿病に興味のある方など、ご参加をお待ちしております。

日時 7月18日(水) 13:30~14:30
 場所 2階 講義室
 内容 “食事療法について” ~管理栄養士によるお話~



お知らせ

1. 診察券の再発行に料金がかかります

平成24年9月1日より、診察券を忘れた方や紛失された方が受診される場合、再発行料として100円を請求させていただきますので、ご了承ください。
 受診の際には、必ず診察券をご持参くださいますようお願いいたします。

2. 今月の「ホッとひと息寄り道講座」

今月の講座は、“知って守ってNO卒中～自分でできる予防対策～” をテーマに、3階西病棟看護師がお話します。お気軽にご参加ください。

日時 7月9日(月)・7月25日(水) 10:00~10:30
 場所 玄関ホール 公衆電話前
 ※過去の講座内容につきましては、当院ホームページでご覧いただけます

トップページ>高砂市民病院の概要

>広報・イベント

>ホッとひと息寄り道講座

「きぼうへのかけはし」に関するお問合せは、
 地域医療連携室までお願いします。
 連絡先 〒676-8585 兵庫県高砂市荒井町紙町33番1号
 TEL 079-442-3981(内線5146)
 FAX 079-443-1401
 ホームページ <http://www.hospital-takasago.jp/>